第11号様式の２（第13条の２関係）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　　月　　日  東京都知事　殿 | | | | | | |
|  | | 申請者 | 住　　所 | | （電話番号） |  |
| ふりがな | |  |
| 氏　　名 | |  |
| 職　　業 | |  |
| 生年月日 | | 年　　　　月　　日 |
| 麻酔銃猟許可申請書  鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第38条の２第２項の規定に基づき、住居集合地域等における麻酔銃猟の許可を受けたいので、下記のとおり申請します。  記 | | | | | | |
|  | 使用する麻酔薬の名称及び量 | | |  | |  |
| 住居集合地域等において麻酔銃猟をしなければならない理由 | | |  | |
| 捕獲等をしようとする期間 | | |  | |
| 捕獲等をしようとする区域 | | |  | |
| 捕獲等をしようとする鳥獣の種類及び数量 | | |  | |
| 危害の防止のための措置 | | |  | |
| 銃砲刀剣類所持等取締法第４条第１項第２号の規定による麻酔銃の所持の許可に係る許可証の番号及び交付年月日（当該許可を受けた者以外の者が麻酔銃猟を実施する場合にあっては、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第５条第２項に定める人命救助等に従事する者届出済証明書の番号及び交付年月日を含む。） | | |  | |
| 記載上の注意事項等  １　住居集合地域の麻酔銃猟については、本許可申請の他に、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第９条第２項の規定に基づく許可申請が必要であり、さらに、必要に応じて同法第37条第２項の規定に基づく危険猟法の許可申請が必要であることに留意すること。  ２　使用する麻酔薬の名称及び量欄には、使用薬名又は麻酔薬の主成分及び１発射当たりの施用量を明示すること。  ３　住居集合地域等において麻酔銃猟をしなければならない理由欄には、生活環境に係る被害の状況又は被害が生じるおそれのある状況を踏まえて、当該住居集合地域で実施しなければならない理由や、捕獲等の作業の安全性や迅速性について他の手段と比較して麻酔銃猟によることが適切とする理由等を記載すること。  ４　捕獲等をしようとする区域欄には、都道府県、区市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺1:50,000以上の地形図等を添付すること。  ５　危害の防止のための措置欄には、人の身体又は生命に予期しない危険を及ぼすおそれを回避する観点から行う措置（方法等の工夫等）を具体的に記入すること。 | | | | | | |

（日本産業規格Ａ列４番）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 住所 | 氏名 | 職業 | 生年月日 | 捕獲等をする鳥獣の種類及び数量 | 麻酔銃の所持許可証 | | 人命救助等に従事する者届出済証明書 | | 備　考 |
| 所持許可番号 | 交付年月日 | 届出済証明書の番号 | 交付年月日 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

記載上の注意事項等

　　人命救助等に従事する者届出済証明書欄については、麻酔銃の所持の許可を受けた者以外の者が、所持の許可を受けた者の監督の下に麻酔銃猟を実施する場合に記載する。